

技術資料



※1キロ粒剤のみ

※1キロ粒剤のみ

※移植のみ

※ジャンボ剤を除く

※ジャンボ剤を除く

水稲用 初・中期一発処理除草剤

アカツキ®

1キロ粒剤 豆つぶ250 ジャンボ フロアブル

米づくりには、 希望の 光。



詳しい使い方、登録内容とSDSはこちらから。

1キロ粒剤



豆つぶ250



ジャンボ



フロアブル



●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

本資料は2023年9月現在の知見に基づき作成しています。 2307(23-9)



自然に学び 自然を守る

クミアイ化学工業株式会社

本社:東京都台東区池之端1-4-26 〒110-8782 TEL03-3822-5036
ホームページアドレス <https://www.kumiai-chem.co.jp>



※商品画像はイメージです。®はクミアイ化学工業(株)の登録商標 アルテアは日産化学(株)の登録商標

ノビエに対する効果

発生前から3葉期までのノビエをしっかり抑え、ノビエ発生量の多い圃場においても高い除草効果を発揮します。

発生前及び生育期の除草効果

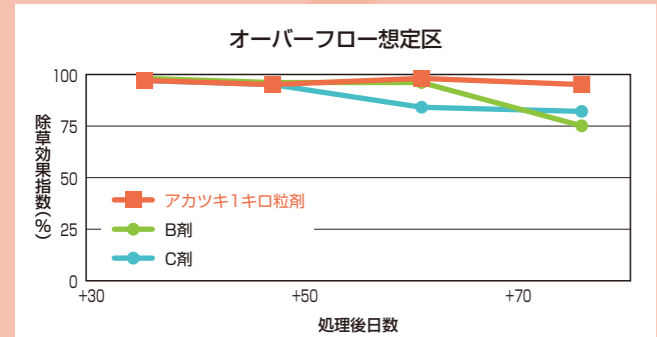
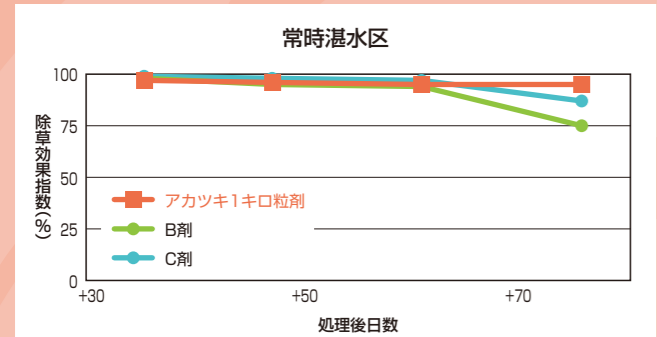
ノビエ発生量の多い圃場において、高い除草効果が確認されました。



試験条件
 試験場所：千葉県香取市
 (千葉県農林総合研究センター水田利用研究室)
 試験規模：7.5m²、3反復
 土 壤：砂壤土
 水稻品種：ふさおとめ
 植 代 日：2021年4月12日
 移 植 日：2021年4月16日
 処 理 日：2021年4月19日(移植後3日)、
 5月5日(移植後19日)

ノビエに対する残効(社内ポット試験)

湛水管理条件、オーバーフローを想定した水変動を受けた条件下においてもノビエに長期残効性を示しました。

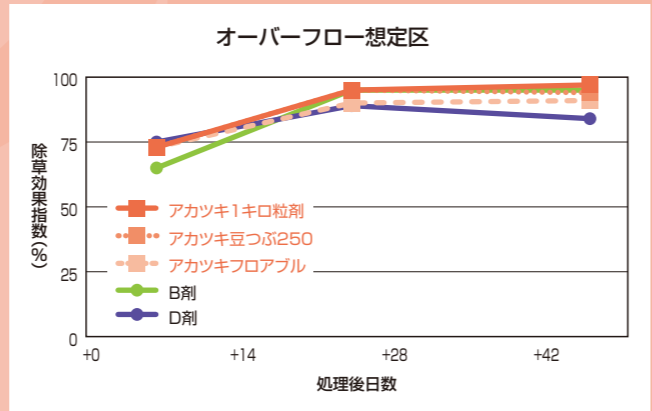


試験条件
 試験場所：静岡県菊川市(自社研究所内温室)
 試験規模：1/5,000aプラスチックポット、2反復
 供試土壌：菊川水田土(埴壤土)
 供試草種：タイヌビエ
 播 種 日：処理後35日、47日、61日、76日目に土壌表面に萌芽状態にある種子を追いつき播きした。
 処 理 日：2019年11月7日
 水 管 理：《常時湛水区》
 2~5cm水深で管理した。但し、処理後25~29日目は中干しを想定し、一度落水した。
 《オーバーフロー想定区》
 処理翌日から5日間毎日水深2cmまで表面水を取り除き、新たに水道水を水深4cmまで入水した。但し、処理後25~29日目は中干しを想定し、一度落水した。
 評価方法：播種後24日~27日に観察による無処理区比の除草効果を指数評価した
 (0：作用なし~100：完全枯死)

3葉期ノビエに対する効果(水変動条件)

オーバーフローを想定した水変動を受けた条件下においても生育期ノビエに高い効果を示しました。

●ノビエ3葉期処理



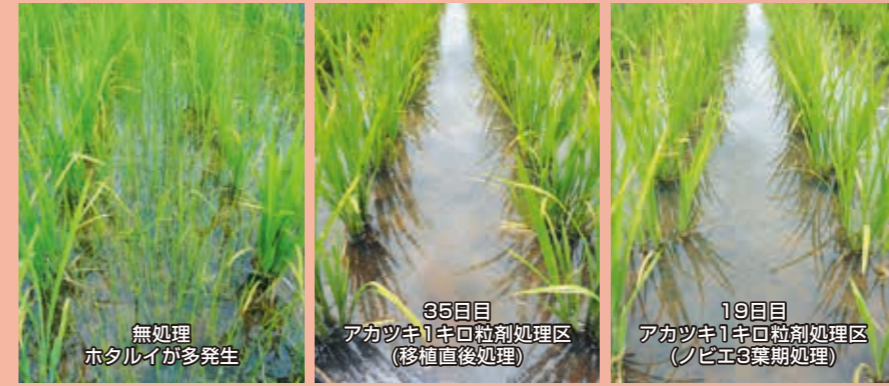
試験条件
 試験場所：静岡県菊川市(自社圃場試験)
 試験規模：5.0m²(2.5m×2m)、2反復
 供試土壌：埴壤土
 水稻品種：コシヒカリ
 植 代 日：2020年4月17日
 移 植 日：2020年4月21日
 処 理 日：2020年5月9日(ノビエ3葉期処理)
 水 管 理：処理前に湛水深約4cmとし、薬剤を均一に処理した。処理後1,3,6日目に湛水深4cmから8cmまで入水後すぐに4cmまで落水し、その後湛水深3~5cmで管理した。
 中 干 し：2020年6月2日~6月9日(7日間)
 調査方法：遠観調査を行い、地上部を無処理区比で指数評価した。
 (0：無処理同等~100：完全枯死)

ホタルイに対する効果

ホタルイ発生量の多い圃場においても、長期間高い効果を発揮します。また、生育期のホタルイにも安定した効果が期待できます。

ホタルイに対する除草効果

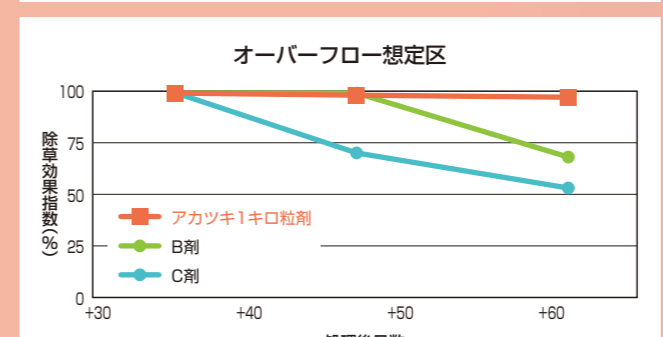
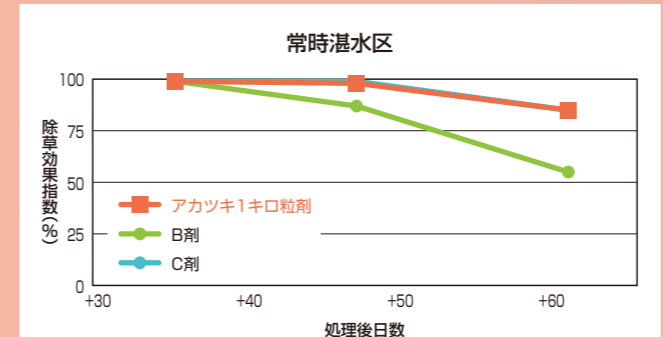
ホタルイの発生が多い圃場において、高い除草効果が確認されました。



試験条件
 試験場所：千葉県千葉市
 (千葉県農林総合研究センター水稲温暖化対策研究室)
 試験規模：8.1m²、3反復
 供試土壌：中粗粒強グライ土沖積埴土
 水稻品種：ふさおとめ
 植 代 日：2021年4月23日
 移 植 日：2021年4月28日
 処 理 日：2021年4月28日(移植直後)、
 5月14日(移植後16日)

ホタルイに対する残効(社内ポット試験)

湛水管理条件、オーバーフローを想定した水変動を受けた条件下においてもホタルイに長期残効性を示しました。

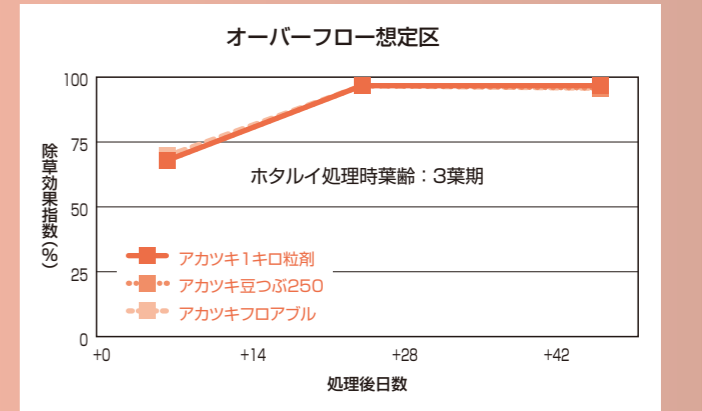


試験条件
 試験場所：静岡県菊川市(自社研究所内温室)
 試験規模：1/5,000aプラスチックポット、2反復
 供試土壌：菊川水田土(埴壤土)
 供試草種：イヌホタルイ(SU剤抵抗性系統)
 播 種 日：処理後35日、47日、61日目に土壌表面に萌芽状態にある種子を追いつき播きした。
 処 理 日：2019年11月7日
 水 管 理：《常時湛水区》
 2~5cm水深で管理した。但し、処理後25~29日目は中干しを想定し、一度落水した。
 《オーバーフロー想定区》
 処理翌日から5日間毎日水深2cmまで表面水を取り除き、新たに水道水を水深4cmまで入水した。但し、処理後25~29日目は中干しを想定し、一度落水した。
 評価方法：播種後35日~39日に観察による無処理区比の除草効果を指数評価した
 (0：作用なし~100：完全枯死)

ノビエ3葉期処理におけるホタルイの効果(水変動条件)

オーバーフローを想定した水変動を受けた条件下においても生育期ホタルイに高い効果を示しました。

●ノビエ3葉期処理



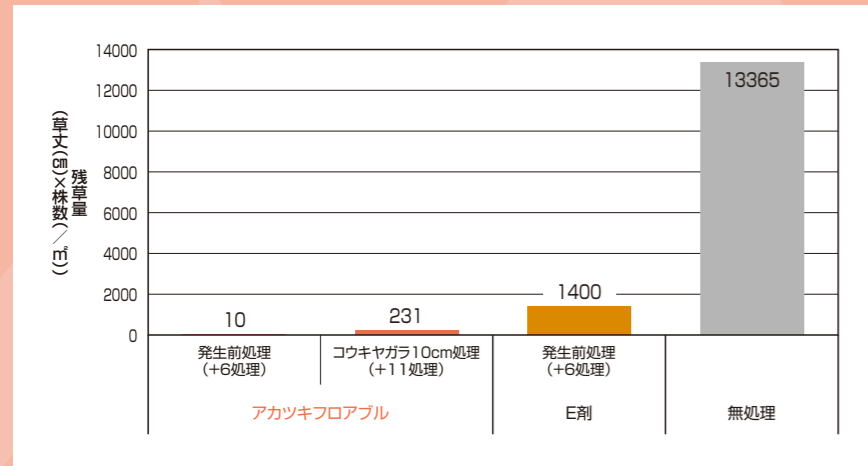
試験条件
 試験場所：静岡県菊川市(自社圃場試験)
 試験規模：5.0m²(2.5m×2m)、2反復
 供試土壌：埴壤土
 水稻品種：コシヒカリ
 播 種 日：2020年4月17日
 移 植 日：2020年4月21日
 処 理 日：2020年5月9日(ノビエ3葉期処理)
 水 管 理：処理前に湛水深約4cmとし、薬剤を均一に処理した。処理後1,3,6日目に湛水深4cmから8cmまで入水後すぐに4cmまで落水し、その後湛水深3~5cmで管理した。
 中 干 し：2020年6月2日~6月9日(7日間)
 調査方法：遠観調査を行い、地上部を無処理区比で指数評価した。
 (0：無処理同等~100：完全枯死)

除草効果

コウキヤガラに対する効果

発生前から10cmのコウキヤガラに効果を発揮します。

■コウキヤガラに対する除草効果 発生前～コウキヤガラ10cmのいずれの処理時期においても高い除草効果を示しました。

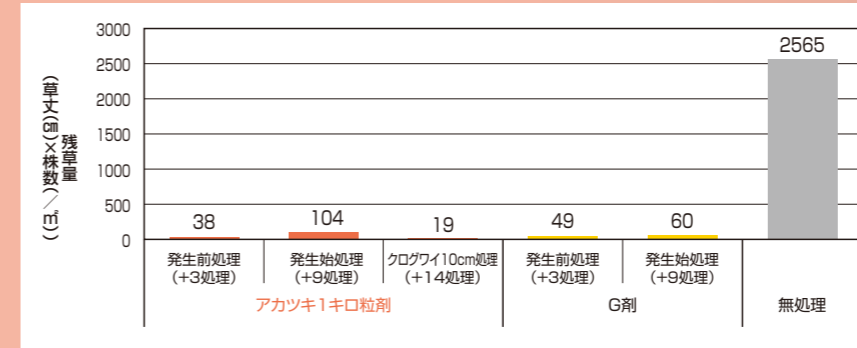


試験条件
 試験場所：茨城県竜ヶ崎市(植調竜ヶ崎試験地)
 試験規模：2.7m²、3反復
 供試土壌：沖積・軽塩土
 水稻品種：あきたこまち
 植代日：2020年4月24日
 移植日：2020年4月27日
 処理日：発生前 5月3日(移植後6日)、
 コウキヤガラ10cm 5月8日(移植後11日)
 調査方法：移植後43日目に草丈と株数を測定した。
 ※試験は、各区の草丈(cm)、株数(本/m²)を調査し、
 残草量=処理区の草丈×株数で示した。

クログワイに対する効果

発生前から10cmのクログワイに効果を発揮します。

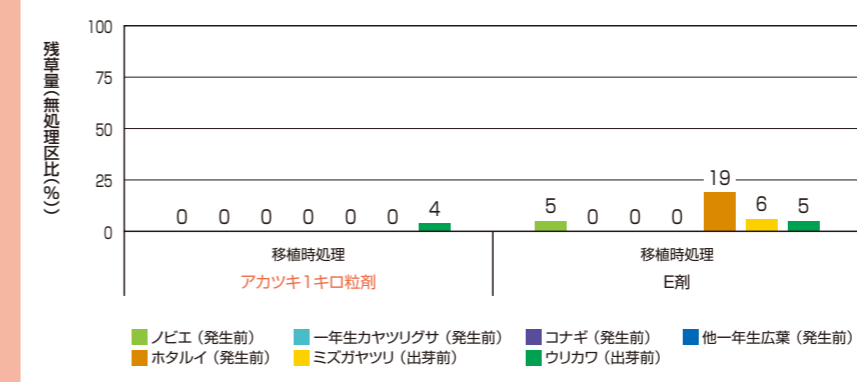
■クログワイに対する除草効果 発生前～クログワイ10cmのいずれの処理時期においても高い除草効果を示しました。



試験条件
 試験場所：茨城県牛久市(植調牛久試験地)
 試験規模：3m²、3反復
 供試土壌：火山灰軽塩土
 水稻品種：コシヒカリ
 植代日：2021年5月28日
 移植日：2021年5月31日
 処理日：発生前 6月3日(移植後3日)、
 クログワイ10cm 6月14日(移植後14日)
 調査方法：移植後43日目に草丈と株数を測定した。
 ※試験は、各区の草丈(cm)、株数(本/m²)を調査し、
 残草量=処理区の草丈×株数で示した。

田植同時処理時の効果

移植時(田植え同時)処理において各草種に対する高い効果が認められました。

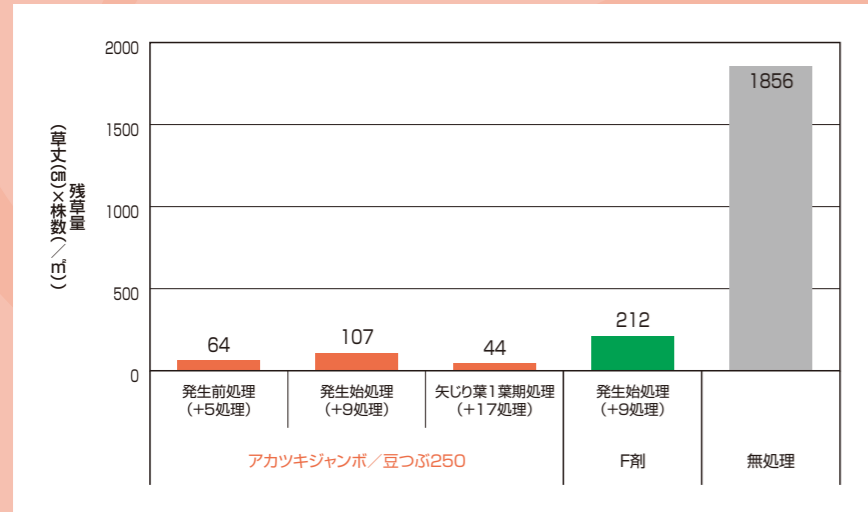


試験条件
 試験場所：茨城県牛久市(植調牛久試験地)
 試験規模：36m²、1反復・4地点を調査
 供試土壌：火山灰軽塩土
 水稻品種：コシヒカリ
 植代日：2020年5月22日
 移植日：2020年5月27日
 処理日：2020年5月27日(田植同時処理)
 調査方法：移植後43日目に地上部重(乾重)を測定し、無処理区比(%)で示した。

オモダカに対する効果

発生前から矢尻葉1葉期までのオモダカをしっかり抑えます。

■オモダカに対する除草効果 発生前～矢尻葉1葉期まで高い除草効果を示しました。

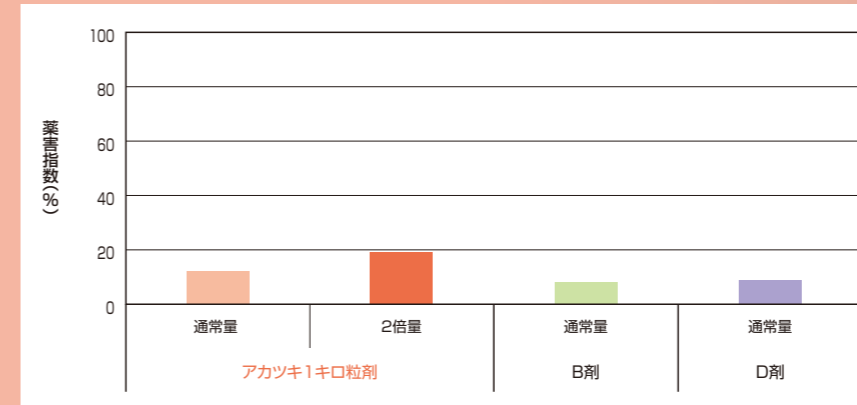


試験条件
 試験場所：新潟県弥彦村(植調新潟試験地)
 試験規模：1m²、2反復
 供試土壌：沖積・砂質塩土
 水稻品種：コシヒカリJBL
 植代日：2020年5月20日
 移植日：2020年5月23日
 処理日：発生前 5月28日(移植後5日)、
 発生前 6月1日(移植後9日)、
 矢尻葉1葉期 6月9日(移植後17日)
 水管理：4cm湛水状態を維持した。
 調査方法：移植後48日目に草丈と株数を測定した。
 ※試験は、各区の草丈(cm)、株数(本/m²)を調査し、
 残草量=処理区の草丈×株数で示した。

水稻安全性

田植同時処理時の安全性

田植同時処理においても高い安全性が確認されています。

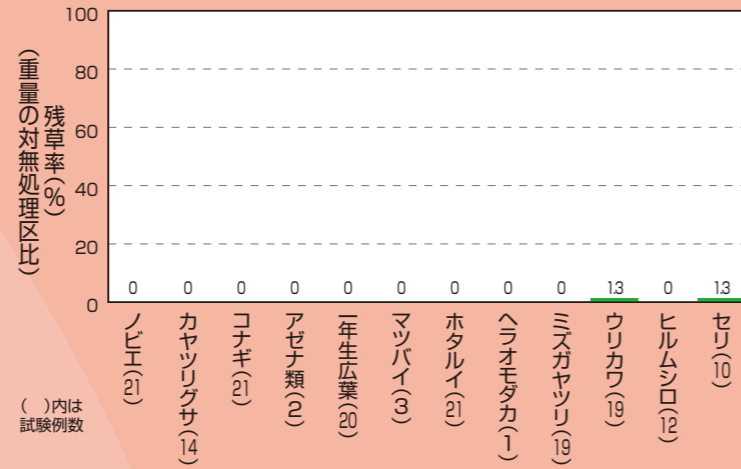


試験条件
 試験場所：宮城県美里町(自社圃場試験)
 試験規模：7.5m²(2.5m×3m)、2反復
 供試土壌：砂壤土
 水稻品種：ひとめぼれ
 植代日：2020年5月13日
 移植日：2020年5月15日
 処理日：移植後入水前(手まき散布)
 水管理：4cm湛水状態を維持するように管理した。
 調査方法：移植後56日目に観察による完全除草区比による薬害の程度を指数評価した。指数20未満を実用上の許容範囲とした。
 (0：薬害なし～100：完全枯死)

各種雑草に対する除草効果

2020~2021年 日植調委託試験成績

移植時・移植当日処理

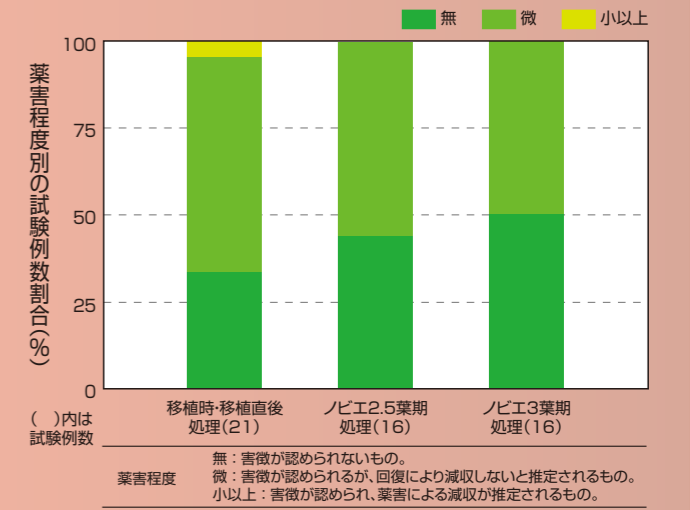


ノビエ3葉期処理



移植水稲に対する安全性

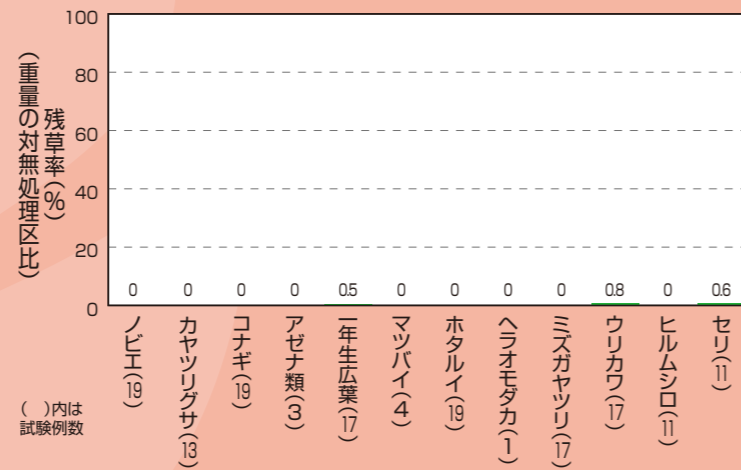
2020~2021年 日植調委託試験成績



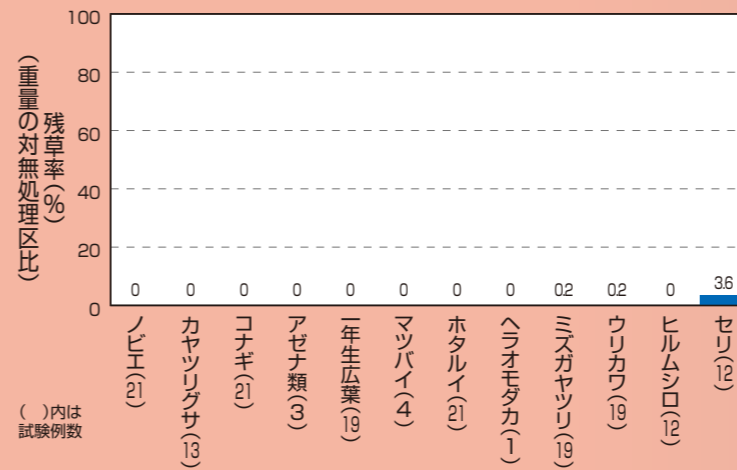
各種雑草に対する除草効果

2020~2021年 日植調委託試験成績

移植3日後処理

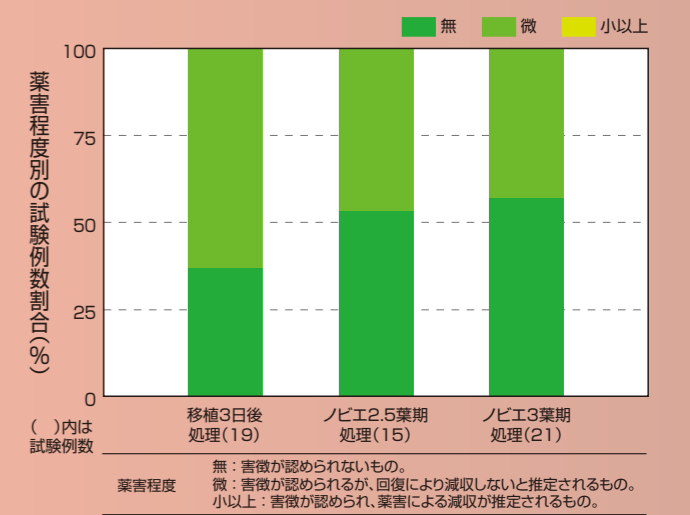


ノビエ3葉期処理



移植水稲に対する安全性

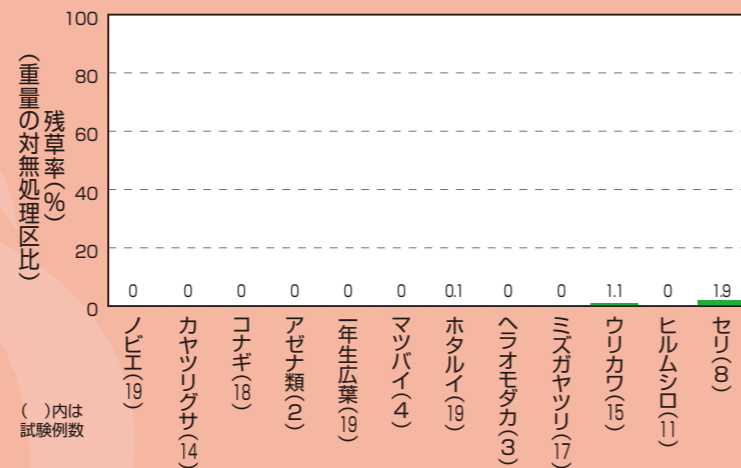
2020~2021年 日植調委託試験成績



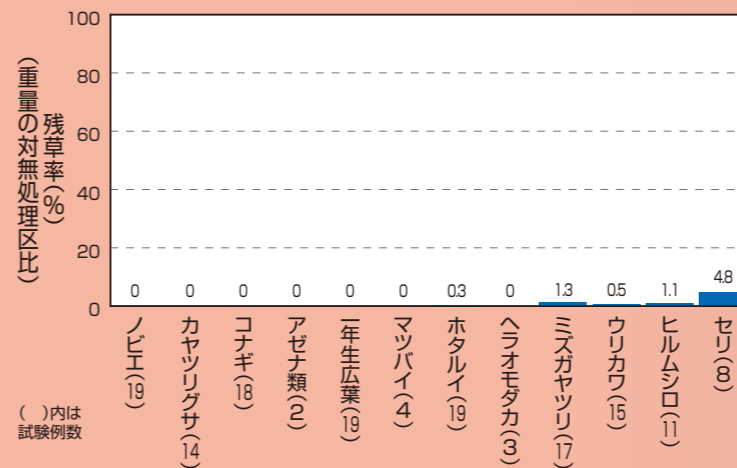
各種雑草に対する除草効果

2020~2021年 日植調委託試験成績

移植3日後処理

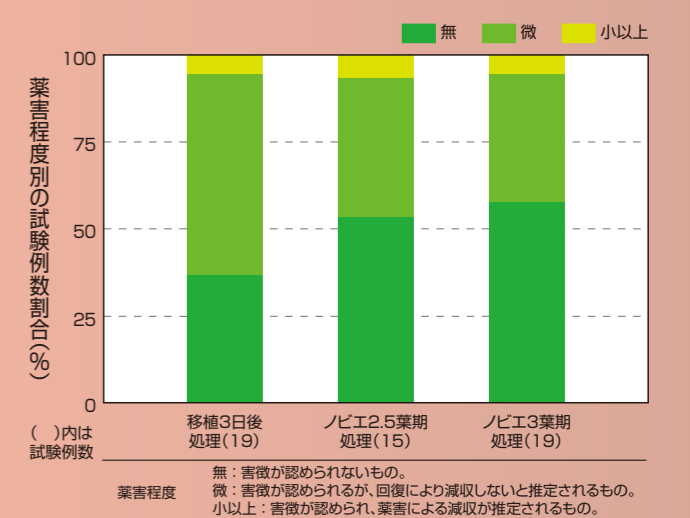


ノビエ3葉期処理



移植水稲に対する安全性

2020~2021年 日植調委託試験成績



1キロ粒剤



豆つぶ250g・シャンボ



フロアブル

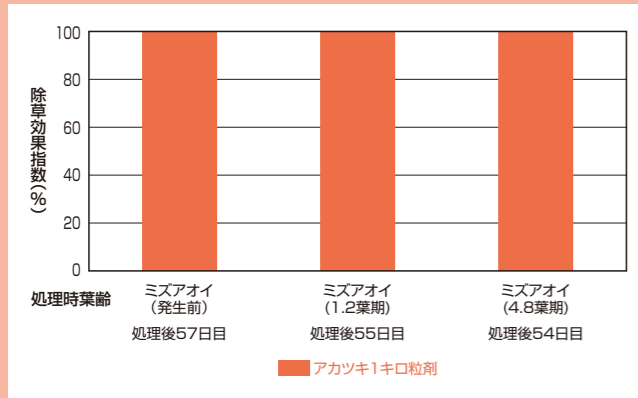


アカツキはミズアオイやイボクサにも有効です。

ミズアオイに対する効果

■ミズアオイに対する除草効果

発生前から4.8葉期のミズアオイに高い効果が認められました。



試験条件

試験場所：宮城県美里町(自社内圃場)
 試験規模：4m²(2m×2m)、2反復
 供試土壌：埴壤土
 水稻品種：ひとめぼれ
 植代日：2020年5月15日
 移植日：2020年5月18日
 処理日：2020年5月18日(発生前)、
 6月2日(ミズアオイ1.2葉期)、
 6月12日(ミズアオイ4.8葉期)
 水管理：4cm湛水状態を維持するように管理した。
 調査方法：処理後54~57日に観察による無処理区比の除草効果率を評価した
 (0：作用なし~100：完全枯死)



イボクサに対する効果

■イボクサに対する除草効果

草丈4cm程度のイボクサに高い効果が認められました。



試験条件

試験場所：宮城県気仙沼市(社内試験)
 試験規模：30a
 水稻品種：ひとめぼれ
 植代日：2022年5月7日
 移植日：2022年5月9日
 処理日：2022年5月16日(移植後7日)

アカツキは様々な用途に合わせて使用することができます。

田植同時処理(1キロ粒剤)



■田植同時処理を行う際の上手な使い方

- 代かきから田植えまでの日数は2~4日程度とし、あまり時間を空けないようしてください。
- 重複散布、過剰散布とならないように散布装置を適正に設定してください。
- 田植同時処理を行った圃場は、速やかに入水を行ってください。
- 田植後7日間は湛水状態を保ってください(田面が露出する場合は水尻が止まっていることを確認し、なるべく静かに入水を行ってください)。
- 田植同時処理後の補植は苗の植付を行う際に根が除草剤処理層に接触してしまうため、薬害の原因になりますのでお控えください。

※なお、植穴の戻りが悪い圃場では「田植同時処理」ではなく、移植後活着を確認してから除草剤を処理してください。

ドローンによる散布(豆つぶ)



■無人航空機による散布を行う際の上手な使い方

- 散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
- 専用の粒剤散布装置を用い、開度を調整してください。
- 水深はやや深め(5~7cm)にし、水口、水尻をしっかり閉めてください。
- 圃場外にドリフトしないよう、圃場の端から5m以上離して圃場内に散布してください(インペラの回転数を落とすなどの調整も必要な場合があります)。
- 豆つぶは吸湿性があるので、降雨時の散布はさけ、また濡れた手で豆つぶを触ることや散布装置が濡れることがないように注意してください。また、開封後は早めに使い切るようにしてください。

アカツキ剤の使用方法

適用雑草及び使用方法

2023年9月現在の登録内容

※各有効成分を含む農業の総使用回数：フェノキサスルホン2回以内、フェンキノトリオン2回以内、メタスルフロン2回以内

■1キロ粒剤(農林水産省登録第24566号)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ ミスガヤツリ、ヘラオモダカ、ヒルムシロ セリ、オモダカ、クロクワイ、コウキヤガラ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1kg	1回※	田植同時散布機で施用
		移植直後~ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで			湛水散布
直播水稻	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ ミスガヤツリ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期~ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで			湛水散布

■豆つぶ250(農林水産省登録第24567号)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草及び多年生広葉雑草	移植後3日~ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで	250g	1回※	湛水散布、 湛水周縁散布、 水口施用又は 無人航空機による散布
直播水稻	一年生雑草及び ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ ヒルムシロ、セリ	稲1葉期~ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで			湛水散布又は 無人航空機 による散布

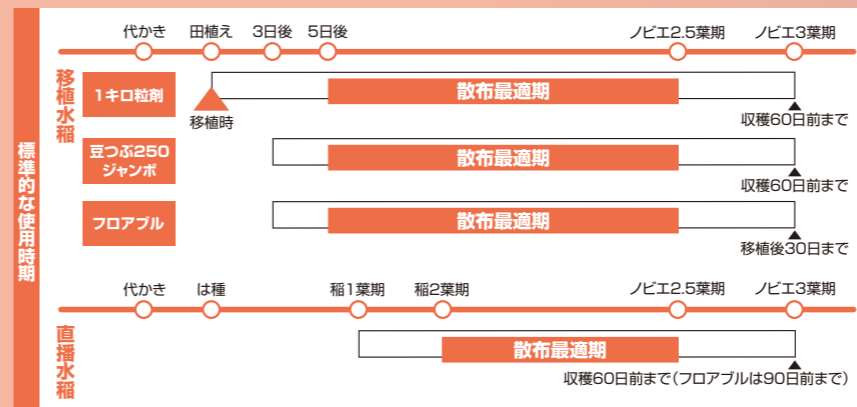
■ジャンボ(農林水産省登録第24568号)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草及び多年生広葉雑草	移植後3日~ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで	小包装(パック) 10個 (250g)	1回※	水田に小包装(パック) のまま投げ入れる。
直播水稻	一年生雑草及び ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ ヒルムシロ、セリ	稲1葉期~ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで			

■フロアブル(農林水産省登録第24569号)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ ミスガヤツリ、ヘラオモダカ、ヒルムシロ セリ、オモダカ、クロクワイ、コウキヤガラ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後3日~ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで	500ml	1回※	原液湛水散布
直播水稻	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ ミスガヤツリ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期~ノビエ3葉期 但し、収穫90日前まで			

■上手な使い方



■使用上の注意(抜粋)

- 【共通】
 ●本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに、時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれかえるので、必ず適期に散布してください。
 ●ホタルイ、ヘラオモダカは3葉期まで、ウリカワは2葉期まで、ミスガヤツリ、クロクワイ、コウキヤガラ、シズイ(豆つぶ250-ジャンボ)は草丈10cmまで、オモダカは矢尻葉1葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離(1キロ粒剤・フロアブル)は発生前までが本剤の散布適期です。
 ●オモダカ、クロクワイ、コウキヤガラ、シズイ(豆つぶ250-ジャンボ)は発生期間が長く、遅い発生のもまでは十分な効果を示さないで、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
 ●苗の植付けが均一となるように、代かき及び補付作業はていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
 ●以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
 ○異常高温の時、あるいは散布後数日以内に梅雨明けになるなど異常高温が予想される時
 ○活着遅延を生じようとするような異常低温の時
 ○砂質土壌の水田および漏水田(減水深2cm/日以上)
 ○軟弱苗を移植した水田
 ○極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田
 ○植穴の戻りの悪い水田
 ●直播水稻に使用する場合、以下の点に注意してください。
 ○稲の根が露出した条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。
 ○除草効果の低下と生育抑制の薬害が発生するおそれがあるので、入水後持ちの安定した後に散布してください。
 ●梅雨時期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるので使用をさけてください。
 ●散布した水田の田面水を他の作物の湛水に使用しないでください。
 ●本剤はその殺草特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分に注意してください。
 ●いくさ栽培予定水田では本剤を使用しないでください。
 ●本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
 【1キロ粒剤】
 ●散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態のまま田面に均一に散布し、散布後3~4日間は通常の湛水状態(水深3~5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
 【1キロ粒剤・豆つぶ250】
 ●無人航空機で散布する際は以下に注意してください。
 ○湛水散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 ○専用の粒剤散布装置によって湛水散布してください。
 ○事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置の開度を調整してください。
 ○散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m以上離して圃場内に散布してください。
 ○水源池、飲料用水などに飛散、流入しないよう十分注意してください。
 【豆つぶ250】
 ●湛水散布の場合は田面に散布し、また、湛水周縁散布の場合は、水田周縁部に沿って帯状に散布し、散布後3~4日間は通常の湛水状態(水深3~5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
 ●水口施用の場合は、あらかじめ1~2cm程度水深を確保した状態で、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、処理後田面水が通常の湛水状態(水深3~5cm)に達した時に必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意してください。散布後少なくとも3~4日間は通常の湛水状態(水深3~5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
 ●藻類・表層はく離などの水面浮遊物が多い場合は、本剤の拡散が不十分になるおそれがあるため、水田全面に散布してください。
 ●水口に対して向かい風が吹いている場合は、本剤の拡散が不十分になるおそれがあるため水口施用をさけてください。
 ●吸湿性があるので、散布時に降雨の場合には濡れないように注意して散布してください。濡れた手で扱わないでください。また、開封後は早めに使用してください。
 【豆つぶ250-ジャンボ】
 ●散布の際は、やや深めの湛水状態(水深5~6cm)にして水の出入りを止めてください。
 【ジャンボ】
 ●散布後少なくとも3~4日間は通常の湛水状態(水深3~5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
 ●小包装(パック)のまま10アール当り10個の割合で水田に均一に投げ入れてください。
 ●藻類・表層はく離、浮き草などの水面浮遊物が多い場合は、拡散が不十分になるおそれがあるため、使用はさけてください。
 ●パックに使用しているフィルムは水溶性なので、濡れた手で作業したり、降雨で破袋することがないように注意してください。
 【フロアブル】
 ●本剤の使用に当たっては、使用前に容器をよく振ってください。
 ●原液湛水散布の場合は、水の出入りを止めて湛水状態(水深3~5cm)のまま水田全面にゆきわたるように散布してください。散布後3~4日間は通常の湛水状態(水深3~5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
 ●無人航空機で原液湛水散布する際は以下に注意してください。
 ○原液湛水散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 ○原液湛水散布に当たっては噴霧ノズルは使用しないでください。
 ○作業中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 ○散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないように風の影響等を十分考慮して原液湛水散布してください。
 ○水源池、飲料用水などに飛散、流入しないよう十分注意してください。
 ○薬剤散布に使用した装置は十分洗浄し、薬剤タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
 ○散布に使用した無人航空機の散布装置は、水稻以外の作物への薬剤散布には使用しないでください。
 ●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはからないようにしてください。